

報道機関各位

(プレスリリース)

2018年5月17日

公益財団法人神戸医療産業都市推進機構

医療イノベーション推進センター

TRIが支援する、J-POPS研究のPSAバウンス解析結果が、 第106回日本泌尿器科学会総会において、 総会賞（前立腺癌・治療）を受賞しました

（公財）神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センター（センター長：福島雅典、神戸市中央区、以下TRI）が支援する、医師主導臨床研究「日本における前立腺癌に対するヨウ素125密封小線源永久挿入療法に関する前向きコホート研究（J-POPS）」が、このたび第106回日本泌尿器科学会総会において、総会賞（前立腺癌・治療）を受賞しましたのでお知らせします。

TRIはアカデミアの臨床研究や治験を支援することで、標準治療の革新や、新しい治療法などの開発の促進に貢献することをミッションにしています。

J-POPSは、前立腺癌密封小線源永久挿入治療研究会（代表世話人 東京医療センター 泌尿器科 斉藤史郎先生）が実施する医師主導臨床研究であり、前立腺癌に対するヨウ素125密封小線源永久挿入療法の治療実態を把握し、その効果と安全性を検討することを目的に2005年に開始された大型の観察研究です。

今回受賞した発表内容の概要は下記のとおりです。

●発表者、共同研究者（敬称略）：

佐藤威文（佐藤威文前立腺クリニック） 斉藤史郎（国立病院機構 東京医療センター泌尿器科）
石山博條（北里大学医学部放射線治療科） 青木 学（東京慈恵会医科大学放射線科） 片山敬久
（岡山大学医学部放射線科） 田中宣道（奈良県立医科大学泌尿器科） 内藤誠二（原三信病院）
伊藤一人（群馬大学医学部泌尿器科・黒沢病院） 萬 篤憲（国立病院機構 東京医療センター放射線科）
菊池 隆（神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センター）
TRI 小島伸介（TRI） 土器屋卓志（杏雲堂病院放射線科） 福島雅典（TRI） 山中英壽（古作クリニック）

●演題名：

Prostate specific antigen bounce after permanent Iodine-125 implant brachytherapy:
Nationwide J-POPS multi-institutional prospective Cohort Study

●概要：

ヨウ素 125 永久挿入密封小線源療法後に認められる PSA バウンス（一過性の PSA 上昇）については、これまでの検討において、その臨床経過との関連性については明らかとなっておりませんでした。

当該検討では PSA バウンスとアウトカムとの相関につき検討を行った結果、PSA バウンスを呈した症例はその後の PSA 再発が有意に少なく、同症候は「Good Phenomenon」であることが大規模な前向きコホート研究として、世界で初めて証明されました。

参考

- ・前立腺癌密封小線源永久挿入治療研究会 <http://zenritusen-seed.kenkyuukai.jp/information/>
- ・J-POPSの概要 <https://clinicaltrials.gov/ct2/show/NCT00534196>

医療イノベーション推進センター（TRI）とは:

TRIは、アカデミアにおける初めてのデータセンター・解析センターであり、日本の文部科学省と神戸市によって2003年に創設されました。臨床研究を主導するすべての研究者と医師に対して、研究相談を受け付け、計画の策定から解析までを一貫して支援しており、現在までに支援してきた臨床試験・臨床研究は350件を突破しています。（2018.3現在）

TRIは、さまざまな技術革新、基盤整備、科学創成を進め、日本における臨床研究・臨床試験の一層の発展を通じて、国民の健康の向上に貢献します。

▶ URL : <http://www.tri-kobe.org>



<リリースに関するお問い合わせ先>

(公財)神戸医療産業都市推進機構 医療イノベーション推進センター

プロジェクトマネジメント部 原田

企画・広報部 あまたつ 天辰、北浦

TEL : 078-303-9095 E-Mail : tri-pr@tri-kobe.org